2019 年度 EFEL 定時総会　議事録

日時：2020 年 10 月 31 日(土)16:10 – 17:45　@ZOOM 会議
参加者(敬称略)：EFEL 相談役:　根来,　監査役：越智
役員：　水野、清水、杉本、田坪、遠藤
実行委員：　東南、岸田、藤澤、中塚、与十田、稲垣
OB/OG：　南村、長嶋、森山、川
現役生：　共田、堀井、長森　*3 名は 17:00 まで参加

【年会費/寄付金に関して役員からの報告】*報告資料より抜粋

・2020 年度の年間運営費は切り詰めて約 3.6 万円で行う予定ですが、会員の拡大施策及び各ブロック活動支援に伴う役員の交通費補助（現在は全て各自負担）等を考えると、概算として年間 8～10 万円は必要。

・会費に関しては、今まで懇親会等開催時に参加者の皆さんから年会費/寄付金を頂いておりましたが、コロナの影響でイベント開催ができず年会費及び寄付金を直接頂く事ができなくなった為、9 月からは年会費及び寄付金ご協力のお願いを HP/SNS/LINE 等で行った結果、9 名の方より約 8 万円の年会費/寄付金を頂き、10/16 時点の通帳残高は約 22 万円となりました。　皆様のご協力で数年分の運営費は確保できましたのでお礼申しあげます。

・引続き HP/SNS/LINE 等を通して年会費/寄付金のご協力頂けるよう、PR を引続き行っていきます。

・今後、早急に議論/検討すべき課題は、EFEL の方向性、重点をどこに置くかであり、それによっては活動領域の増減も見直す必要があります。並行して必要な資金額、その徴収方法なども再度検討する必要があります。

・将来、会費を無料にして寄付金方式 1 本にする案もあり、無料にした場合のメリット・デメリットを明確にして今後の役員/実行委員会議の中で引き続き検討を行っていきます。

【2020 年度収支予算資料添付】*報告資料より抜粋

EFEL 2020年度　収支予算(案)

自 2020年4月　至 2021年3月

収入の部　　（単位:円）

科目	前年度決算額	今年度予算額	増減	備考
会費収入	42,000	20,000	△ 22,000	各ブロック懇親会キャンセルに伴い徴収額ダウン
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
繰越金	134,627	139,810	5,183	
収入の部合計	**176627**	**159,810**	**△ 16,817**	

支出の部

科目	前年度決算額	今年度予算額	増減	備考
事務用品	0	0	0	
交通費	5,960	5,000	△ 960	学校側との調整会議に伴う交通費
通信費	28,220	28,000	△ 220	会議システムZOOM 20,000円 ホームページ使用料金　4,758円 総会郵便案内 ¥3,242
会議費	2,417	2,400	△ 17	監査対応費
振込手数料	220	220	0	
支出小計	**36817**	**35,620**	**△ 1,197**	
次年度繰越金	139810	124,190	△ 15,620	
支出の部合計	**176627**	**159,810**	**△ 16,817**	

【質疑/応答】

1. 現役生の活動について

Q(東南)：今年の新入部員は 1 名＋仮入部 2 名。今後どの様に増やして行く計画か？
➡(共田)今年は例年の加入ブースが出来ていない為、SNS だけでの勧誘が難しい。但し人数限定等でイベントが出来つつあり、来春 1、2 回生まとめて勧誘をする事になると思われる。

Q(水野)：ESS の会議メンバーは現在 2 回生だが、来年度はどうなるのか？
➡(共田)現在 2 回生部員が 20 名強おり、来年度は 3 回生が中心となり役員をやる予定。以降 3 回生が主体のクラブ運営に変わって行くと思われる。

2．会費・寄付金について

Q（長嶋)：振込先の口座は郵便局と銀行の 2 つあるが、統一されるか、それともどう使い分けをするのか？

➡(水野)EFEL 基金は学生の活動支援用：三井住友銀行振込みになっている。
EFEL 年会費及び寄付金は EFEL 活動資金として：ゆうちょ銀行振込で分けている。ゆうちょ銀行に振込まれた際、年会費なのか寄付金なのか受取時不明であれば田坪さんより振込者に確認をする様にしている。今回収支報告で説明した残高不足懸念をしているのは、EFEL 活動資金である年会費である。

➡(田坪）ゆうちょ銀行で年会費として入金した場合、過去の不払い分に充当するのか、当該年以降とするのか経理的判断が難しく、年会費を止め寄付金一本で会を運営して行く方が経理的に明確であるメリットもあり。

Q(東南)：永久会員制度を作って新規勧誘の際に説明したらどうか？
(幾ら払ったら永久会員等、以降は寄付金)、特に若い人にはメリットがあるのではないか？

➡各人によって残年数の関係もあり、一律に金額幾らと線引きは難しい。

3．会員拡大に関して

Q(東南)：会員を増やす、特に若い世代(2016 年以降)に会員になってもらいたいがどの様に考えるか、本日参加の若い世代の皆さんから意見を聞きたい。

➡(森山：2012 年)現在ベトナムに住んでいる為、日本開催の物理的な懇親会参加が難しい事から会費を払うメリットを感じられなかったが、今年はリモートで参加する事が出来て、初めて会費を払うメリットが感じられた。自分で年 2 万円の Zoom 会費を払わずとも EFEL の Zoom アカウントを使う事が出来るメリットは大きく、今後会員の輪が拡がって行くと期待している。

➡(稲垣：2001 年卒)個人的には同級生とつながっており懇親会等で会う機会もあるが、EFEL の会合に同世代が参加出来ていない事は残念に思う。如何に EFEL に引き込むかが課題である。参加するメリットをより魅力的にする事もあるが、オンラインを利用する事で、参加したくとも出来ない忙しい人の課題解決、会員の輪を拡げる解決につながると思う。

Q(清水)現役生の活動状況報告について若い世代の OB 目線からどう思うか？
➡(森山)自分が所属していたセクションが今どうなっているか興味は有る。

4. 総会への案内状について

Q(東南)：EFEL 総会時の案内をメールアドレス不明会員に対してハガキを郵送しているが、住所不明で戻ってきた人はどれ位いて、今後どうしていこうとしているか？少ない資金の中で郵送代が無駄になっていないか？

➡(田坪)住所不明で戻ってきた人分については翌年ハガキで案内を出さない事にしている。19 年は 37 名に郵送し住所不明で 3 通戻る。(この 3 名に対して 20 年度は案内せず) 20 年は 34 名に郵送し住所不明で 1 通戻る。但し受け取りをされた 33 名より返信はゼロで総会に参加もして頂いていない。

➡(清水)基本的に今の時代にハガキで郵送はと疑問はあるものの、諸先輩の意見も聞きながら、こちらの温度が伝わるであろうと思い郵送手段をとっているのが現状。

➡(田坪)返信無し=参画の意思ないと思われるが、一案として、この 33 名には 21 年に再度郵送し、Email だけの案内になる事を明記したハガキを来年再度送付してはどうかと考えている。

【採決】

参加者全員賛成で議案書について可決した。

以上　（書記：遠藤）